

2018.4.1(日)～6.24(日)

展示替 5月14日(月) [前期 4月1日(日)～5月13日(日) / 後期 5月15日(火)～6月24日(日)]

河鍋家伝来・河鍋曉斎記念美術館所蔵

The Kawanabe Kyosai Memorial Museum Ancestral Collection: Kyosai and Kyosui

The Soul of the Artist as Pioneered by Father and Daughter

- Bilingual (Japanese/English) Exhibition -

曉斎

きこようさい

先駆の絵師魂！

おやこ え
父娘で挑んだ画の真髄

曉翠伝

きこようすい



[@kyosaikyosui](https://twitter.com/kyosaikyosui)

曉斎《三番受》《極楽太夫図》河鍋曉斎記念美術館蔵 / 曉翠《羽衣》《白梅図》河鍋曉斎記念美術館蔵 ※いずれも部分

TOKYO FUJI ART MUSEUM
東京富士美術館

〒192-0016 東京都八王子市谷野町492-1 TEL 042-691-4511

www.fujibi.or.jp tokyofujibi.jp www.facebook.com/fujibi

主催：東京富士美術館、河鍋曉斎記念美術館、
トランスパシフィックエンタープライズ
後援：八王子市、八王子市教育委員会、八王子商工会議所
監修：河鍋楠美（河鍋曉斎記念美術館館長）
休館日：月曜日（祝日の場合は開館。翌日火曜日が振替休館）
ただし、4月2日（月）は開館
開館時間：午前10時～午後5時（午後4時30分受付終了）
入場料：大人 1,300(1,000)円 / 大高生 800(700)円
中小生 400(300)円 / 未就学児 無料

※（ ）内は各種割引料金【20名以上の団体・65歳以上の方・当館メルマガ登録者ほか】 ※土曜日は中小生無料 ※誕生日当日にご来館された方はご本人のみ無料【証明書をご提示ください。休館日の場合は適用できません】 ※障がい児者、付添人1名は半額【証明書をご提示ください】

河鍋家伝来・河鍋曉斎記念美術館所蔵

The Kawanabe Kyosai Memorial Museum Ancestral Collection Kyosai and Kyosui
The Soul of the Artist as Pioneered by Father and Daughter
- Bilingual (Japanese/English) Exhibition -

曉斎

きょうさい

先駆の絵師魂！

父娘で挑んだ画の真髄

曉翠

きょうさい

TOKYO FUJI ART MUSEUM
東京富士美術館



◀特別出品：曉斎《枯木寒鴉図》榮太樓總本舗蔵



▲曉斎《美人觀蛙戲図》

▼曉斎《いせ辰千代紙 秋・赤》



◀曉翠《百狸々》

▼曉翠《寛永時代美人図》



▼曉斎《毘沙門天像》



▼曉斎《鯉魚遊泳図》



近年人気を集め、話題の展覧会も次々開催されている河鍋曉斎。本展では幕末から明治前半の画壇において、狩野派絵師として、また様々な画派を貪欲に学びながら幅広い作風と領域で活躍した曉斎と、その長女で、柔らかで色彩豊かな美人画や小児図を得意とし、時には父・曉斎と同様の勇壮な、あるいはユーモラスな作品をも描いた女流画家・曉翠に焦点を当てます。

河鍋家には曉斎の非凡な技量をうかがわせる 3000 枚を超える貴重な下絵を始め、江戸末期から**伝**来している作品・資料が多く残っています。曉斎の曾孫である河鍋楠美氏が河鍋曉斎記念美術館を設立して以来、研究の進展とともに曉斎の多彩な画業の有り様があきらかになってきました。本展は曉斎を曉斎たらしめた伝説的なエピソードとともに、本画や浮世絵、挿絵や能・狂言画、席画などこれまで部分的に紹介されてきた曉斎を改めて総合的に展望し、娘・曉翠に受け継がれ伝えられたその画業の**伝**承までを網羅していきます。

絵師・曉斎は伝統的な狩野派修業を自らのものとしながら、新しい画法や表現、主題にも積極的に取り組んでいく先取の気風に溢れていました。弟子にイギリスの建築家コンドルがいたことも有名ですが、曉斎の絵師としての活発で先駆的な活動が同時代に海外で一躍有名になった一つの要因でしょう。娘・曉翠が初期の女子美術教育に携わっていたことも曉斎の多方面での活動と通じる部分があるようにも思えます。本展の最後には、「現代に**伝**えられる曉斎」としてエピソードを設けます。曉斎が創造した多彩な作品は現代の私たちや子どもたちに豊かなインスピレーションを与えてくれます。実際に1993年に大英博物館で開催された曉斎展の折に子どもたちがワークショップで制作した作品の記録などの紹介も含め、曉斎から曉翠、河鍋家に受け継がれ、そして近年再認識され**伝**えられている曉斎の魅力を幅広くご紹介しします。

河鍋 曉斎 (1831-1889)

幕末から明治前半にかけて江戸・東京で活躍した狩野派絵師。様々な流派や西洋画の解剖図まで学び、「掛けぬものは無い」実力を備えた絵師として、多様な作品を描く。

河鍋 曉翠 (1868-1935)

河鍋 曉斎の長女、父・曉斎に絵を学び、日本画家となる。明治 30 年代後半には、現在的女子美術大学草創期に教鞭をとり、日本の女子教育に尽力した。

関連イベント

記念講演会「曾祖父曉斎、祖母曉翠を語る」

日 時：4月15日(日) 14:00～1 時間程度

講 師：河鍋楠美 (河鍋曉斎記念美術館 館長)

スペシャル・アート・トーク「現在から見る曉斎の魅力」+ 河鍋 楠美

日 時：4月29日(日) 14:00～1 時間程度

講 師：牧野友衛 (トリップアドバイザー 代表取締役)、玉置泰紀 (KADOKAWA 2021 年室担当部長、前ウォーカー総編集長)、伏谷博之 (タイムアウト東京 代表取締役)、河鍋楠美 (河鍋曉斎記念美術館 館長)
メディア、エンタメ、インターネットの分野の第一線で活躍し、アート好きでもある 3 名によるトークイベント。曉斎の曾孫・河鍋楠美氏を交え、現在から見た曉斎とその作品の魅力を語り合ってください。

曉斎が愛した能楽・狂言～大藏彌太郎特別公演

日 時：5月3日(木・祝)、5月5日(土・祝)、各日 14:00～1 時間程度

出 演：大藏彌太郎

曉斎が指した能・狂言画から、(喜楽楼)「朱広がり」を公演。大藏彌太郎氏による解説に加え、曉斎の曾孫・河鍋楠美氏との対談(5月3日)や親子狂言体験も(5月5日)。

記念講演会「画家と子孫の眼差し～私見・絵師の魂対談」山口晃 / 河鍋 楠美

日 時：6月3日(日) 14:00～1 時間程度

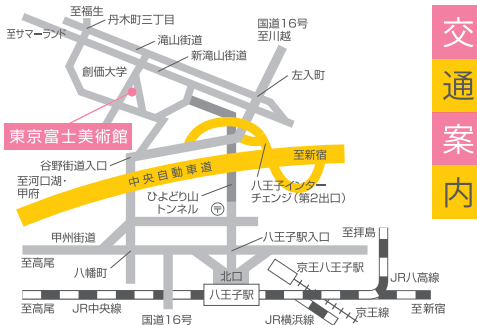
講 師：山口晃 (画家)、河鍋 楠美 (河鍋曉斎記念美術館 館長)

日本の伝統的絵画の様式を用い、油絵技法を使って描く作風で知られ、幅広く活躍する画家・山口晃氏。幕末・明治期に新しい画風、画題に挑戦し、広く海外まで知られた曉斎とその画業を継いだ曉翠の人と作品について、曉斎の曾孫・河鍋楠美氏と対談していただきます。

学芸員による西洋絵画展まぐれギャラリーートーク

日 時：4月7日(土)、4月21日(土)、5月19日(土)、6月2日(土)、6月16日(土)、各日 14:00～1 時間程度

※申込不要・無料 (ただし、いずれも展覧会の入場料金が必要、土曜は中小生無料)



バス

- JR 八王子駅北口 始発から 12:29 発までは、西東京バス 14 番のりばより⇒創価大正門東京富士美術館行き、または創価大学循環、「創価大正門東京富士美術館」で下車 / 12:31 発以降は、西東京バス 11 番 (八日経線) もしくは 12 番 (ひよどり山トンネル経由) のりばより⇒創価大正門東京富士美術館行き、創価大学循環、「創価大正門東京富士美術館」で下車
- 京王八王子駅 西東京バス 4 番のりばより⇒創価大正門東京富士美術館行き、または創価大学循環、「創価大正門東京富士美術館」で下車
- JR 拝島駅 (1 時間 1 本程度運行) 西東京バス 3 番のりばより⇒工学院大学 (高月経線) 行き、「創価大正門東京富士美術館」で下車 / 純心女子学園行き、「純心女子学園」で下車、徒歩 10 分
- JR 秋川駅 (1 時間 1 本程度運行) 西東京バス 2 番のりばより⇒京王八王子駅 (サマランド、ひよどり経線) 行き、「純心女子学園」で下車、徒歩 10 分

お車

- 中央道八王子 IC 第 2 出口より八王子市街方面へ進み、国道16号に合流。三つ目の信号 (谷野街道入口) を右折、直進し、二つ目の信号 (谷野町) を右折。
- 圏央道あきる野 IC を左折し直進。丹木1丁目 芦沢交差点を右折し直進。

メールマガジンを配信致します。ご登録ください！



www.fujibi.or.jp 📺 tokyofujibi 📱 www.facebook.com/fujibi

🐦 曉斎・曉翠伝公式 twitter @kyosaikyosui

割引券

※ 1 枚につき、10 名様まで有効

大人 1300円 ▶ 1000円
大高生 800円 ▶ 700円
小中高 400円 ▶ 300円